

IFERIセミナー

日本語学習者における格助詞「を」と「に」  
の習得について

—ヒンディー語母語話者を対象に—

人文社会科学研究科、国際地域研究専攻

日本語教育研究コース、1年

CHAUHAN ANUBHUTI

# 研究動機

- インドにおける日本語教育の現状


- 2003年 海外日本語機関調査(国際交流基金)

機関数	教師数	学習者数
16	36	1,099

- 2009年 海外日本語機関調査(国際交流基金)

機関数	教師数	学習者数
170	484	18,372

問題点→ 習得しにくい学習項目を明らかにし、その原因を検討する研究が非常に少ない。

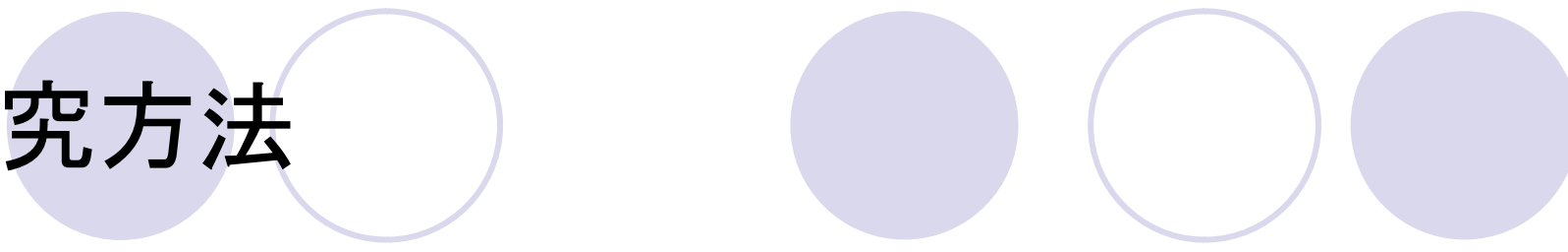


# 研究目的

- 「に」と「を」格助詞の誤用の原因を検討する

「を」「に」の誤用に対して、格や動詞の意味タイプ、そして母語の文法体系の異同が影響しているという仮説の妥当性を検証する。

# 研究方法



- 述語の意味が格助詞の選択に影響しているか否かを検証するために、穴埋め式の文法テスト(アンケート調査)を行う。
- アンケート調査の結果には母語による影響が反映されているか否かを明確にするために、ヒンディー語の文法体系との異同を明らかにし、フォローアップインタビューを行う。

# 研究方法

- 角田(1991)の二項述語の分類に基づき、「がーに」及び「がーを」の格枠組をとる述語のカテゴリー

格枠組	がーを					
類	1	2	3	4	5	
意味	動作・作用		知覚	追求	知識	感情
	影響	無影響				
例	壊す 食べる	助ける ほめる	聞く 見つける	探す 尋ねる	思い出す 疑う	尊敬する 愛する
格枠組	がーに					
類	1	5	6	7	8	
意味	無影響	感情	生理的・心理的変化	変化	能力	
例	影響する ぶつかる	慣れる 賛成する	震える 酔う	なる 変わる	弱い 得意	

# アンケート調査の内容

- 格枠組「がーを」(13問)

意味		問題文
動作・作用	影響	私がパソコン__壊しました。
	無影響	先生が花子__ほめました。
知覚		花子が財布__見つけました。
追求		太郎が花子の部屋__尋ねました。
知識		太郎が花子__疑いました。
感情		花子が先生__尊敬しています。
経路		鳥が空__飛んでいます。
出発		太郎が車__降りました。

# アンケート調査の内容

## ● 格枠組「かーに」(7問)

意味	問題文
動作・作用(無影響)	先生の言葉が私の将来__影響しました。
感情	太郎がこの意見__賛成しました。
生理的・心理的变化	太郎が寒さ__震えています。
変化	信号が赤__変わりました。
能力	太郎が数字__弱いです。
帰着	花子がホテル__泊まっています。

# アンケート調査の内容

- コントロール問題(4問)

分類	問題文
他の助詞とる述語	花子が太郎__離婚しました。 花子は10時から12__運動しました。
「を」も「に」もとれる述語	太郎は花子のわがまま__怒りました。



# パイロット調査

- 調査実施について

調査協力者: ヒンディー語母語話者(14人)

その他(3人)

所属 : ネール大学、日本語学課(3年生)

日本語能力: 中上級

実行日 : 2009年08月

# パイロット調査

## ● アンケート調査の結果

格柵組「がーを」			格柵組「がーを」		
意味		正答率	意味		正答率
動作 作用	影響	100	動作 作用	—	
	無影響	96		無影響	86
知覚		96	感情		71
追求		89	生理的・心理的变化		35
知識		71	変化		57
感情		50	能力		21
通過		93	帰着		78
出発		96			
平均正答率		86	平均正答率		58

# ヒンディー語との対照

- 花子がホテルに泊まっています。

hanako hotel **mein** thehri. <mein:に格>

- 太郎が数字に弱いです。

Tarou garit **mein** kamzoor hei. <mein:に格>

- 花子が太郎と離婚しました。

Hanako ne Tarou **ko** talaak diya. <ko:に格>

- 太郎が花子を疑いました。

Tarou ne Hanako **par** shak kiya. <par: (の上)に>

# 課題



- 教科書分析
- レベル判断テストの必要性
- 穴埋め式アンケート調査の作成
- 調査の実行
- フォローアップインタビュー

# 参考文献

- 蘇雅玲 『日本語学習者における格助詞「を」「に」の習得過程の研究』 東北大学, 2007
- 角田太作 『世界の言語と日本語』 東京:くろしお出版, 1991
- 迫田久美子 『日本語教育に生かす第二言語習得研究』 東京:アルク, 2002
- 野田尚史・澁谷勝己・小林典子 『日本語学習者の文法習得』 東京:大修館書店, 2001
- 奥津敬一郎, 沼田善子, 杉本武 『いわゆる日本語助詞の研究』 凡人社, 1986.